

# 特定健診受診率向上専門委員会

(平成 28 年度)

## 特定健診受診率向上専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 特定健診受診率向上専門委員会

委員長 木原 康樹

### I. はじめに

広島県市町国保における特定健診受診率が平成 21 年に全国最下位という不名誉な成績となったことを受け、本委員会は、平成 24 年に広島県地域医療対策協議会に設置された。市町医師会責任者、地方公共団体行政担当者、学識経験者などにより本会議を構成し(資料 1)、受診率向上のための具体策の提案とその実行を企画してきた。昨年度までの活動では、受診率全国最下位の脱出には、1) 1つの施策のみで顕著な改善は期待し難く、2) みなし健診の実施や、実施者における事務処理内容の画一化の断行など、行政と医師会とが一体となってさまざまな手法を組み合わせてゆくことが必要である。一方、3) 効果を現しつつある市町とそうでない市町との格差が認められ、とりわけ、4) 人口を擁する広島市においては進捗が緩徐であり更なる対策を要する、と総括された。本年度は平成 28 年 6 月 18 日に第 1 回本会議を開催し、各市町での進捗状況を共有するとともに、地域の実情に沿った改善策の遂行に努めた。また、平成 29 年 3 月 6 日には第 2 回本会議を開催した。その際には、暫定値ではあるが平成 27 年度市町国保受診率が山口県を抜いて全国 46 位と最下位を脱したことが報告された。従って、未だ目標値(全国平均値を上回る)にはほど遠いものの、5 年間にわたる本委員会を中心とした受診啓発が一定の効果を示したと考えられ、活動の方向性として概ね是認されると結論することができた。本委員会は今年度を以って解散するが、この活動の方針を堅持し、広島県が引き続き一丸となって特定健診の普及に邁進すれば、必ず目標を達成できることを確信する。以下に本年度の報告を記載する。

#### 1. 平成 28 年度第 1 回受診率向上専門委員会

平成 28 年 6 月 18 日

広島県医師会館 4 階 401 会議室

### 【要旨】

前回の委員会で指摘のあった請求事務手続きに関する調査結果や、広島県の現状・取り組みを報告後、受診率向上に向けた対策について協議した。今後、委員所属の各市町と地区医師会が共同で状況把握を行い、具体的な目標を定め取組を進めていくこととした。

### 【報告・協議事項】

#### 1) 各地区の特定健診事務手続きに関する調査結果について

前回(平成 27 年度 11 月)の委員会において指摘のあった請求事務の煩雑さに関する問題点の把握を目的とした請求事務手続きや書式についての調査結果を報告した。調査結果から、検体の検査と特定健診の請求データ電子化作業は一本化されていない機関がほとんどで、同一機関内でも、検査結果データと請求データの紐付けができないところがあることが分かった。上記については各検査機関や代行請求機関の使用システムによるため、統一化は困難であるが、特定健診を実施する医療機関の意欲向上の観点から意見交換した。検査センターをもつ医師会委員からは、サービス向上により利用増の可能性も含めて持ち帰り検討したいとの意見があった。

#### 2) 平成 28 年度における特定健診実施率向上に向けた取組について

広島県より、県内の特定健診実施状況や受診率向上に向けた取組、今後の対応などについて説明し、受診率向上に係る平成 28 年度の各地区の取組についても意見交換した。県の主な取組として、今年度中に創設予定のヘルスケアポイント制度の活用について説明があった(ヘルスケアポイント制度は、県民が特定健診など健康づくりに関する活動を行うことでポイントが付与され、そのポイントを協賛店で利用できるというシステム)。また、「特定健診・保健指導の 3 疾患関連入院外医療費への効果額シミュ

レーションツール」についても説明があった。本ツールは、各保険者が被保険者数や特定健診受診率などのデータを入力することにより、特定保健指導実施率などの増大効果による3疾患関連入院外医療費の縮減額を算出し、特定健診実施計画の策定時などに活用するために厚生労働省が作成したものである。委員からは、特定健診の案内を送付する際の工夫や、独自のツールを用いた受診率向上に向けた対策など、これまでの各市町での取組や現状について報告があった。また、ほかの市町での取組を参考に取り入れていきたいとの意見があった。

### 3) その他

今後の対応として木原委員長より、出席委員に対して県より説明のあったシミュレーションツールについて各市町で使用してみること、また可能であれば数値目標を含めた具体的な行動計画を市町と地区医師会が共同で立てることの2点について要望し、次回委員会に内容を持ち寄っていただくこととした。おわりに、医師会と行政とでより一層情報共有、連携を深めていただき、受診率向上に向けた取組を推進していきたい、と結んだ。

## 2. 平成28年度第2回受診率向上専門委員会

平成28年3月6日

広島県医師会館4階 401会議室

### 【要旨】

委員所属の各市町と医師会での、特定健診受診率向上に向けた具体的な行動計画の協議状況について報告・意見交換を行った。また、広島県の現状や来年度実施予定の取組について報告後、受診率向上に向けた対策について協議、総括した。

### 【報告・協議事項】

#### 1) 平成28年度圏域地対協研修会について

本会より、平成29年2月5日(日)に開催された標記研修会について報告した。「特定健診・特定保健指導について～受診率向上に向けて～」をテーマに、委員長による特別講演と市町行政、医師会関係者など6名の先生方より講演をいただき、332名の参加があった。

#### 2) 特定健診・保健指導の3疾患関連入院外医療費への効果額シミュレーションツールを使用した協議結果について

前回委員会で委員長より要望のあった、委員所属の各市町と地区医師会での標記ツールを用いた協議結果について説明があった。広島市(広島市医師会、

安佐医師会、安芸地区医師会)、福山市(福山市医師会)、大竹市(大竹市医師会)、廿日市市(佐伯地区医師会)、呉市医師会の委員より、現状や来年度実施予定の取組について報告があった。特に対象者の多い広島市では、新規の取組として、治療中の方の情報提供(みなし健診)の開始や60歳代の自己負担額の無料化、被用者保険から国保に変わる60・65歳に対する丁寧な受診勧奨などを予定としていた。委員からは、特にみなし健診について、提供票の様式の統一を求める意見や、受診率向上のためには各医療機関の十分な理解が必要であるとの意見があった。また、特定健診のメリットを簡単で効果的に表すキャッチフレーズなどを盛り込んだリーフレットがあれば、患者への受診勧奨などに役立つのではないかとの意見があった。

#### 3) 平成26年度都道府県別特定健康診査等実施状況・平成27年度広島県市町国保別特定健康診査等実施状況について

広島県より、平成26年度および27年度の本県の特定健診受診率などについて説明があった。国保の受診率は平成26年度まで6年連続全国最下位であったが、平成27年度は25.7%で全国46位となり、前年度からの伸び率は1.8%と全国2位であった。県内で受診率が最も高いのは安芸高田市、次いで神石高原町、庄原市である。なお、前年度と比較すると伸び率の高い3市町はいずれも自己負担額の無償化を実施していることや、リピート率の高い市町の方が受診率が高い傾向にあるとのことであった。委員からは、特定健診受診率の伸び率が第1位の愛媛県の取組について調査してほしいとの意見や、特定保健指導の実施率は実施主体によって異なるのかとの質問があり、これに対し県からは、分析を進めて報告したいとの回答があった。

#### 4) 市町国保別の平成27年度受診率と受診率向上に係る平成28年度取組状況・今後の受診率向上の方策について

広島県より、各市町の平成27年度受診率と現状、県と各市町の来年度の取組について説明があった。3月10日から運用開始のヘルスケアポイント制度では、特定健診の受診で500ポイント獲得できることとしており、同制度を活用した受診率向上を期待したいとのことであった。

5) 第3期特定健康診査等実施計画期間における特定健診・保健指導の運用の見直しについて

広島県より、1月に国が示した、第3期特定健診等実施計画期間（平成30年～35年）における特定健診・保健指導の運用見直しに関する議論のまとめについて説明があった。この春にも標準的プログラムの改訂版が示される予定で、この度の見直しでは特に特定保健指導について変更がある予定とのこと。

6) その他

田中委員より、「特定健診における腹囲とリスクに関する横断研究」、「特定保健指導『積極的支援』の効果に関する研究」について情報提供があった。委員長からは、こうしたエビデンスを参考に各医療機関において受診勧奨を行っていただきたいとの意見があった。

おわりに中西委員より、今回の委員会をもって本委員会は終了となるが、また何らかの形で情報共有

や連携を深める機会を設け、受診率向上に向けた取組を推進していきたい、と結んだ。なお、終了後に委員長より、委員から提案のあったリーフレット作成について指示があった。

## Ⅱ. ま と め

本委員会の本年の活動を総括した。記述のごとく平成27年度暫定報告によると、広島県の市町国保特定健診は全国最下位を脱し第46位に向上した。とりわけ受診率上昇率では全国2位となることができ、広島県医療関係者の総意を挙げての活動が一定の効果を挙げることができたと考える。本委員会がその中核を担うことができたのであれば幸いである。但し、目標値への最終到達には未だ道半ばと謂わざるを得ず、引き続き活動の継続と啓発を続ける必要がある。





# ■特定健康診査実施率・特定保健指導実施率の推移

1 特定健康診査の実施率（全国）（単位：％）

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市町村国保①	301.9	311.4	322.0	327.7	333.7	341.2
国保組合①	311.8	321.3	332.0	337.7	343.7	351.2
協会けんぽ①	301.1	311.3	321.9	327.6	333.6	341.1
健康保険組合①	291.5	301.6	312.2	317.9	323.9	331.4
共済組合①	281.9	292.0	302.6	308.3	314.0	321.7
全体①	308.9	319.3	330.0	335.7	341.4	348.9
広島県全体②	333.3	343.7	354.3	364.9	375.5	386.1

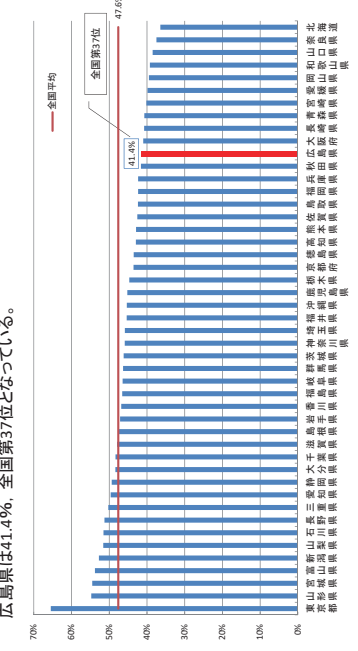
2 特定保健指導の実施率（全国）（単位：％）

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市町村国保①	14.1	15.5	17.0	18.5	19.9	22.5
国保組合①	2.4	5.5	7.7	8.3	9.5	9.0
協会けんぽ①	3.1	7.3	7.4	11.5	12.8	15.3
健康保険組合①	6.8	12.2	14.5	16.7	18.1	18.0
共済組合①	4.2	7.9	8.7	10.6	13.7	15.7
全体①	7.7	12.3	13.1	15.0	16.4	17.7
広島県全体②	8.6	14.1	17.1	19.4	18.6	21.5

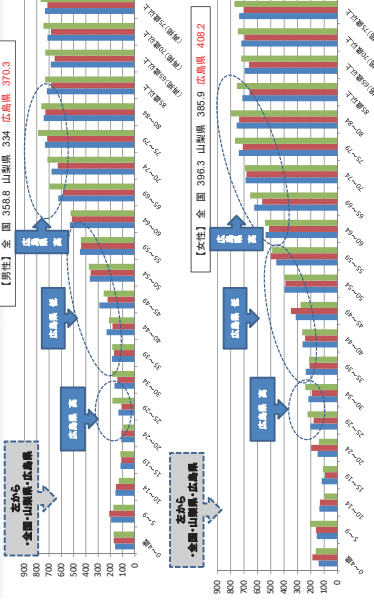
出典：① 平成27年8月21日付厚生労働省「平成25年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」  
 ② 平成27年10月27日付で厚生労働省から各都道府県へ提供された参考データを加工したものです。

# ■平成25年度都道府県別特定健康診査実施率

平成25年度都道府県別特定健康診査実施率の状況は、全国平均が47.6%、広島県は41.4%、全国第37位となっている。



# ■人口千人対通院者率(男女・年齢層別)



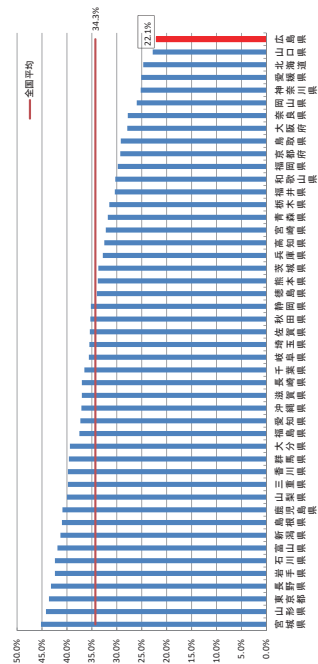
【平成25(2013)年国民生活基礎調査(厚生労働省)】

# ■人口10万対外来受療率(疾病別)

疾病	全国	広島県	山梨県	山梨県
呼吸器系疾患	134	166	122	122
循環器系疾患	1	1	1	1
脳血管疾患	4	4	4	4
消化器系疾患	44	45	44	44
泌尿器系疾患	10	10	10	10
皮膚科疾患	152	152	152	152
眼科疾患	22	22	22	22
耳鼻科疾患	15	15	15	15
歯科疾患	346	407	371	371
精神科疾患	31	48	42	42
その他	80	209	211	211
合計	66	66	66	66
呼吸器系疾患	47	34	30	30
循環器系疾患	286	282	282	282
脳血管疾患	6	6	6	6
消化器系疾患	108	122	122	122
泌尿器系疾患	15	15	15	15
皮膚科疾患	134	134	134	134
眼科疾患	22	22	22	22
耳鼻科疾患	15	15	15	15
歯科疾患	346	407	371	371
精神科疾患	31	48	42	42
その他	80	209	211	211
合計	66	66	66	66
呼吸器系疾患	47	34	30	30
循環器系疾患	286	282	282	282
脳血管疾患	6	6	6	6
消化器系疾患	108	122	122	122
泌尿器系疾患	15	15	15	15
皮膚科疾患	134	134	134	134
眼科疾患	22	22	22	22
耳鼻科疾患	15	15	15	15
歯科疾患	346	407	371	371
精神科疾患	31	48	42	42
その他	80	209	211	211
合計	66	66	66	66
呼吸器系疾患	47	34	30	30
循環器系疾患	286	282	282	282
脳血管疾患	6	6	6	6
消化器系疾患	108	122	122	122
泌尿器系疾患	15	15	15	15
皮膚科疾患	134	134	134	134
眼科疾患	22	22	22	22
耳鼻科疾患	15	15	15	15
歯科疾患	346	407	371	371
精神科疾患	31	48	42	42
その他	80	209	211	211
合計	66	66	66	66

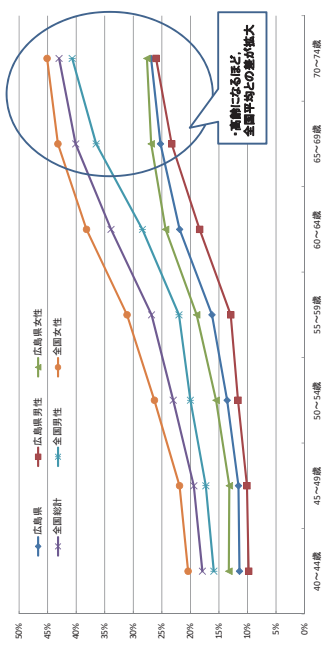
■平成25年度都道府県別市町村国保特定健康診査実施率

平成25年度都道府県別市町村国保特定健康診査実施率の状況は、全国平均が34.3%、広島県は22.1%で、5年連続全国最下位となっている。



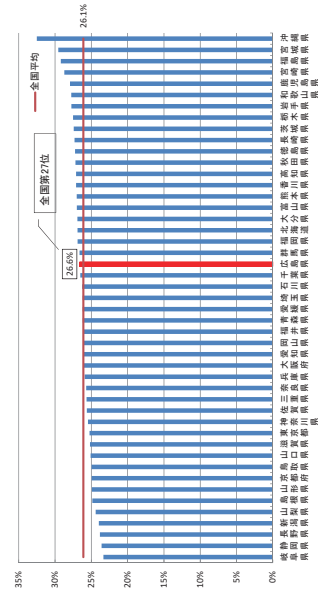
■平成25年度年齢階層別市町村国保特定健康診査実施率

広島県は全ての年齢階層で全国平均を下回っており、年齢が上昇するとともに、全国平均との差が広がっている。



■平成25年度都道府県別メタボリックシンドローム該当者割合等

平成25年度都道府県別メタボリックシンドローム該当者割合等の状況は、全国平均が26.1%、広島県は平均を上回る26.6%、全国第27位となっている。

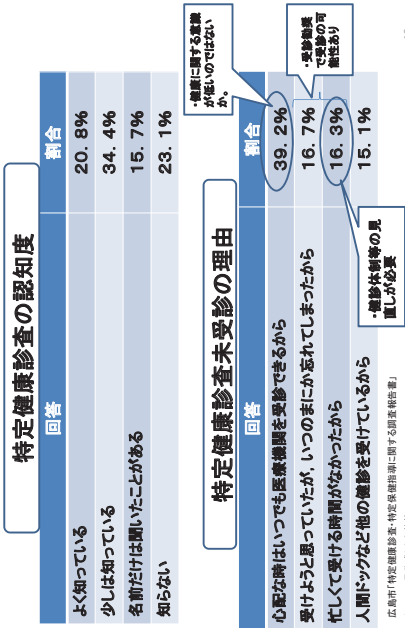


■メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の状況

● 目標の25%減(H20→H28)に対し、H26年度は、「6.0%」増加している。  
※全国値は「3.5%減少」

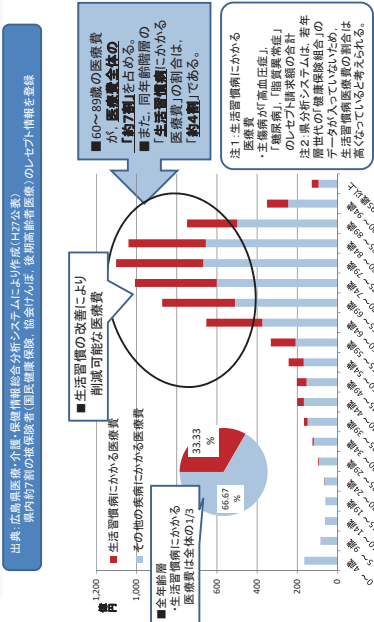


## ■ 特定健康診査の受診にかかるアンケート結果(広島市)



13

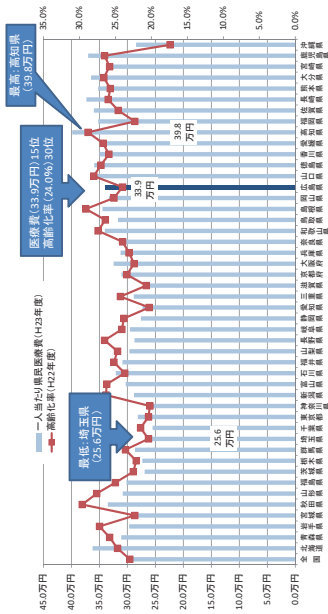
## ■ 年齢階層別医療費(H25年度 広島県)



15

## ■ 都道府県別の1人当たり県民医療費

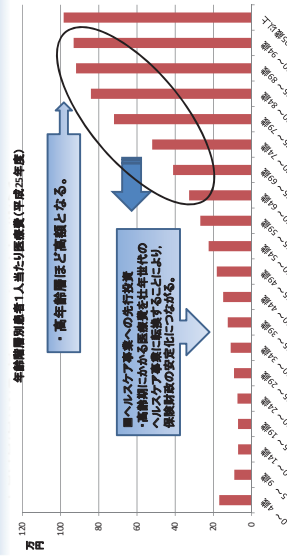
- 1人当たり医療費は、西高東低の傾向にある。
- 全国的な傾向として、1人当たり医療費の高さは、高齢化率に相関しているが、本県の場合は、高齢化率の低順位が「30位」にもかかわらず「1人当たり医療費は15位」と高い。



出典：都道府県別国民医療費(厚生労働省)

14

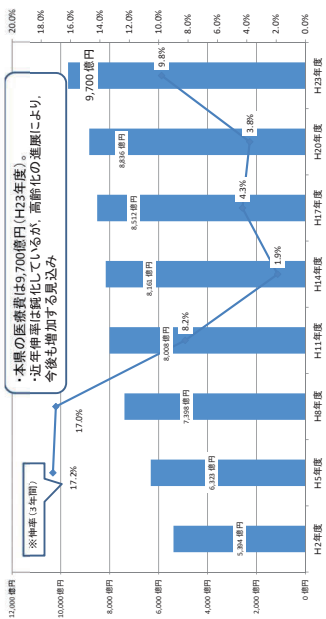
## ■ 年齢階層別患者1人当たり医療費



出典：広島県医療・介護・保健情報総合分析システムにより作成(H27公表)  
県内約7割の医療従事者(国民健康保険、協会けんぽ、後期高齢者医療)のレセプトデータをベースに

16

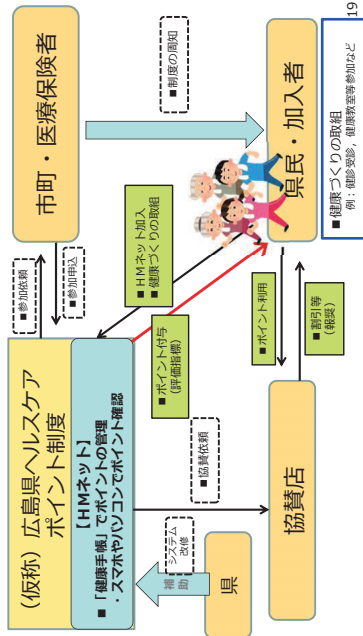
### ■ 広島県の医療費の推移



出典：都道府県別国民医療費(厚生労働省)

### ヘルスケアポイント制度の創設 (H28年度中)

- 県全域を対象としたヘルスケアポイント制度を創設
- 県民の健康づくりの取組に関するインセンティブを強化



### ■ 広島県の健康課題

- 健康寿命が全国的に低位(全国順位: 男性33位, 女性46位)
- 特定健康診査受診率が全国的に低位(全国順位: 37位)
  - 市町医療の受診率が低い(5年連続全国最下位)
  - 被用者保険の被扶養者の受診率が低い
- 60歳以上の受診率が全国に比べて低い
- 病気になる時に、医療機関に受診すればよいという意識の人が多い。
- 高齢者の通院率が高い。(仮説: 疾病が重症化して受診する人が多い。)
- メタリックシンドロームの該当者及び予備群の数が増加している。
- 結果として、1人当たり医療費が高くなっている。

■ 県民が自らが、健康づくりに向けた行動変容を促す仕組みの構築が必要



資料3

市町国保の平成26年度受診率と受診率向上に係る平成28年度取組状況

市町名	対象者数	受診者数	受診率	健診の実施方法に係る取組				未受診者対応(△は一部対応)					健診データの提供に係る取組		
				集団健診の 休日実施	女性専用日 や託児等の 対応	追加検査 項目の実施	無料化	未受診者への 受診勧奨 (郵送)	未受診者への 受診勧奨 (電話)	未受診者 宅訪問	前年度受診者 への電話勧奨	治療中の方の特定 健康診査情報提供	事業主及び被保険者への 健診情報提供依頼		
安芸高田市	5,273	2,728	51.7%	○		○	○	○					○	○	
神石高原町	1,846	898	48.6%			○	○	○	○	△	△			○	
世羅町	3,115	1,322	42.4%	○	○	○	○	500円	○	○	○	○	○	○	○
北広島町	3,433	1,423	41.5%	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安芸太田町	1,346	553	41.1%			○	○	1,000円	○	△			○	○	○
庄原市	6,578	2,609	39.7%	○		○	○	○	○	○	△			○	○
熊野町	5,135	1,930	37.6%	○	○	○	○	1,000円	○	○				予定なし	○
尾道市	26,782	8,890	33.2%	○	○		○	○	○	△	△		△	○	○
府中市	7,192	2,347	32.6%	○		○	○	1,500円	○	○	○	○	○	○	○
廿日市市	19,883	6,293	31.7%	○	○	○	○	○	○	△			○	○	○
江田島市	5,605	1,747	31.2%	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三次市	8,803	2,741	31.1%	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
東広島市	25,387	7,468	29.4%	○	○	○	○	○	○	△			○	○	○
竹原市	5,574	1,628	29.2%	○	○	○	○	○	○	△			○	○	○
海田町	4,432	1,287	29.0%	○	○	○	○	1,000円	○	○	○	○	○	○	○
府中町	7,746	2,214	28.6%			○	○	1,000円	△				○	○	○
大崎上島町	1,783	488	27.4%			○	○	○	○	○				予定なし	○
坂町	2,259	577	25.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○
大竹市	5,642	1,392	24.7%	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	予定なし	○
三原市	17,201	4,240	24.6%	○	○	○	○	○	△	△			○	予定なし	○
福山市	74,821	17,851	23.9%	○	○	○	○	○	△	△			△	○	○
呉市	39,378	9,057	23.0%	○	○	○	○	1,000円	○	△			○	○	○
広島市	182,723	30,923	16.9%	○		○	○	500円	△	△				予定なし	○

平成 28 年度市町国保特定健康診査について

1 特定健康診査の実施体制等について  
(1) 自己負担金について

検査項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平成28年度の状況市町名
集団、個別 ともに無料	2	2	5	5	10	13	14	竹原市、三原市、尾道市、 福山市、三次市、庄原市、 大竹市、東広島市、廿日市 市、安芸高田市、江田島市、 坂町、北広島町、大崎上島 町
無料	0	0	0	1	1	1	1	神石高原町
1,000円未満	2	3	2	2	2	2	2	(500円)広島市、世羅町
1,000～ 1,500円未満	14	13	11	12	9	6	5	(1,000円)呉市、府中町、海 田町、熊野町、安芸太田町
1,500円以上	5	5	5	3	1	1	1	(1,500円)府中市※
1,000円未満	1	2	2	3	3	2	2	(500円)広島市、世羅町
1,000～ 1,500円未満	10	9	8	10	8	6	5	(1,000円)呉市、府中町、海 田町、熊野町、安芸太田町
1,500円以上	10	10	8	5	2	2	2	(1,500円)府中市 (1,600円)神石高原町
課税状況による 軽減措置の実施	18	18	15	13	8	7	7	広島市、呉市、府中市、府 中町、海田町、熊野町、神 石高原町
年齢による 軽減措置の実施	4	4	4	5	4	4	4	広島市、府中市、熊野町、 神石高原町

※ 市町は平成28年度から軽減を行った市町

※ 軽減措置については、市町ごとに年齢、課税状況、集団、個別の別などによって基準が異なる。

※ 府中市は初回1,500円、2年連続受診で2年目700円、3年連続受診で3年目無料としている。

(2) がん検診との同時実施状況

特定健康診査とがん検診との同時実施(集団健診)市町数 23市町

※ 検査項目は市町、会場によって異なる。

※ 一部会場のみ同時実施の市町もあり。

2 特定健康診査の追加検査項目及び実施市町の状況について

追加検査実施：21市町(広島市、呉市、竹原市、三原市、福山市、府中市、三次市、庄原市、  
大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、海田町、熊野町、  
坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町)

追加検査未実施：2市町(尾道市、府中町)

検査項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平成28年度の状況市町名
血清 クレアチニン	11	16	19	20	21	広島市、呉市、竹原市、三原市、福山市、 府中市、三次市、庄原市、大竹市、 東広島市、廿日市市、安芸高田市、 江田島市、海田町、熊野町、坂町、 安芸太田町、北広島町、大崎上島町、 世羅町、神石高原町
尿酸	5	6	8	8	12	広島市、呉市、福山市、廿日市市、 江田島市、海田町、熊野町、安芸太田町、 北広島町、大崎上島町、世羅町、 神石高原町
尿潜血	2	3	4	3	5	呉市、庄原市、廿日市市、海田町、 北広島町
心電図	2	2	3	3	4	福山市、廿日市市、坂町、大崎上島町
眼底検査	2	2	3	4	5	廿日市市、坂町、大崎上島町、世羅町、 神石高原町(片眼)
貧血検査	5	8	11	10	12	広島市、福山市、三次市、廿日市市、 安芸高田市、熊野町、坂町、安芸太田町、 北広島町、大崎上島町、世羅町、 神石高原町
塩分摂取量	0	1	1	2	5	呉市、三原市、三次市、海田町、 安芸太田町

※ 市町は平成28年度から追加した市町

平成28年度 自己負担額及び追加健診項目の実施状況

市町村	特定健診実施基本的な項目ご自身負担額(単位:円)				50歳以上の人が、市民健康診査受診者(前年度)について 70歳以上の人が、市民健康診査受診者(前年度)について 70歳以上の人が、市民健康診査受診者(前年度)について	健診実施日	健診実施の必要項目	健診実施の必要項目	健診実施の必要項目
	集団	個別	個別	個別					
広島市	500	500	500	500	0	0	0	0	0
呉市	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
竹原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尾道市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府中市	1,000(1,000円未満)～1,500(1,500円未満)	1,000	1,500	800	0	0	0	0	0
三次市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庄原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大竹市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東広島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸高田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江田町	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
府中市	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
瀬田町	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
瀬野町	1,000(700円未満)以上は無料	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸太田町	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0
北広島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大崎上野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世羅町	500	500	500	500	0	0	0	0	0
神石高原町	0	0	1,500	1,500	0	0	0	0	0

平成28年度 未受診者への対応状況

市町村	未受診者への対応状況		未受診者対応(一部対応は△)	
	未受診者への対応状況	未受診者への対応状況	未受診者への対応状況	未受診者への対応状況
広島市	電話による発着通知 ※平成28年9月1日から平成29年1月1日の間で9月15日～午後12時、広島県在宅医療福祉活動者の会に依頼し、市役所本庁舎で実施。未受診者の中から条件を設定して実施 平成29年11月1日、発着通知パックを作成し郵送、未受診者の中から条件を設定して実施	△	△	○
呉市	・全世帯宛の通知に「ヘルプ」等の通知(4月・7月) ○未申込者への電話による受診勧奨(2回実施) 実施日時:10月 7日、20日 10月 実施方法:コミュニティセンターの自動発信 対象:特定保健診査対象者がいる世帯のうち電話が通じない世帯 ○未申込者への受診券送付 実施日時:10月 実施方法:9月までに特定健診を含む通知を郵送(4月・7月) 対象:特定保健診査対象者 ○未受診者へはがきによる受診勧奨 実施日時:11月 実施方法:はがきによる受診勧奨 対象:特定保健診査対象者がいる世帯のうち、受診率の低い年齢、地区等や前年度の受診状況から対象者を抽出(52,500人程度)	△	△	○
三原市	・市が前年度集団健診を受診した者で、今年度集団健診の予約がなかった者へ電話勧奨(6月・8月・11月) ・市が前年度3年連続未受診、かつ、生活習慣病のリスクが高い者(約6,000人)に対し、はがきにより受診勧奨(11月)	△	△	○
尾道市	11月現在(当年度全未受診者)、年間通して電話勧奨(一部)、地域活動時(一部)	○	△	△
福山市	生活習慣病のリスクが高い(平成28年度)の者、平成27年12月末までの集団健診受診者、 ③がん検診推進事業対象者で平成27年度未受診者(約1,000人)に対し、はがきにより受診勧奨した。上記の勧奨できなかった者に対してはがきを郵送する。	○	△	△
府中市	①時間:8月～9月 方法:電話 対象:60～74歳 ②時間:8月～9月 方法:電話 対象:40～59歳	○	○	○
三次市	8月下旬、文書にて受診勧奨実施予定	○	○	○
庄原市	①9月1日に交際及び福祉(関係機関)からの受診勧奨、治療中の方の情報提供開始 ②そのほか受診日準備に於いて電話勧奨	○	△	○
大竹市	7～9月にハガキによる通知を実施予定 生活習慣病のリスクが高い者を中心として実施予定	○	△	△
東広島市	5月初旬に特定保健診査委員会に依頼による勧奨を実施 前年度未受診者がいる世帯(約1,000戸)に対してハガキ送付	○	△	○
廿日市	8月:未受診者への電話による受診勧奨(11月:未受診者への受診券送付) ※前年度未受診者への電話による受診勧奨は随時実施	○	△	○
安芸高田市	未受診者に対しては、9月上旬受診勧奨と同時に受診券を送付し、個別勧奨へ移行している。	○	○	○
江田町	9月以降、対象を絞りこみ、勧奨通知を送る。 対象は、今後検討する。	○	○	○
府中市	9月10日、過去3年連続未受診者(約1,000人)を中心とした大石は、健康意識及び受診習慣等により内容を吟味した ・9月初旬、過去3年連続未受診者(約1,000人)を中心とした大石は、健康意識及び受診習慣等により内容を吟味した ・10月中旬、各世帯宛にハガキを送付する。 ・本年度未受診者で前年度健診異常値を放置している人に対し、心臓病及び糖尿病の発症リスクを表示した通知による受診勧奨を実施(9月)	△	○	○
海田町	【保健師、管理栄養士による訪問】 時間:5月～個別健診終了時期(11月)(全未受診者への実施ではない) 時間:9月(9月時点で全未受診者への実施) 【郵送はがきの送付】 時間:9月(9月時点で全未受診者への実施)	○	○	○
瀬野町	一部未受診者に関しては、健康意識や受診習慣等についてお話し合いできる時に受診勧奨を行う。	○	○	○
坂町	11月1日の集団健診終了後、全未受診者に対し郵送および電話による受診勧奨を行う。 郵送:全対象者 電話:対象者のうち40歳以上、50歳代の者とその他の家族	○	○	△
安芸太田町	6月以降に郵送による個別勧奨を全未受診者へ実施	○	○	○
北広島町	9月:未受診者へ個別通知 9月～10月:未受診者への電話、訪問 12月:未受診者への電話、訪問	○	○	○
大崎上野町	・郵送による受診勧奨 ・個別訪問による受診勧奨(30戸)を実施し、個別勧奨を同日実施するため、この2つの申込があった方で、特定保健診査対象者には、当日受付で、受診勧奨	○	○	○
世羅町	9月初旬:未受診者通知 各種健康診査:個別電話勧奨	○	○	○
神石高原町	6月の総合健診未受診者に対し、9月下旬に受診券を送付し、受診するよう促す。	○	△	△

平成28年度 治療中の方の情報提供の実施状況について

市町名	実施	時期	契約額	契約の相手方	特定健診(個別)自己負担の有無
広島市	未実施	—	—	—	有 500円
呉市	実施	H24年10月	4,044円	地区医師会	有 1,000円
竹原市	実施	H25年7月	3,780円	協力医療機関	—
三原市	未実施	—	—	—	—
尾道市	実施	H24年4月	3,780円	地区医師会	—
福山市	実施	H28年5月	3,921円	協力医療機関	—
府中市	実施	H23年11月	3,780円	地区医師会	有 1,500円(40-64歳) 800円(65-74歳)
三次市	実施	H26年10月	3,780円	協力医療機関	—
庄原市	実施	H24年10月	3,780円	協力医療機関	—
大竹市	未実施	—	—	—	—
東広島市	実施	H26年4月	3,780円	地区医師会	—
廿日市市	実施	H24年8月	3,780円	地区医師会	—
安芸高田市	実施	H26年10月	4,044円	地区医師会	—
江田島市	実施	H26年6月	3,965円	協力医療機関	—
府中町	実施	H24年6月	3,780円	地区医師会	有 1,000円
海田町	実施	H28年4月	4,044円	地区医師会	有 1,000円
熊野町	未実施	—	—	—	有 1,000円
坂町	実施	H28年2月	3,780円	地区医師会	—
安芸太田町	実施	H27年11月	3,780円	協力医療機関	有 1,000円
北広島町	実施	H24年12月	3,780円	協力医療機関	—
大崎上島町	未実施	—	—	—	—
世羅町	実施	H24年4月	3,780円	地区医師会	有 500円
神石高原町	実施	H26年6月	3,780円	協力医療機関	有 1,600円
実施 18市町					未実施 5市町

平成28年度 実施率向上に向けた改善点等

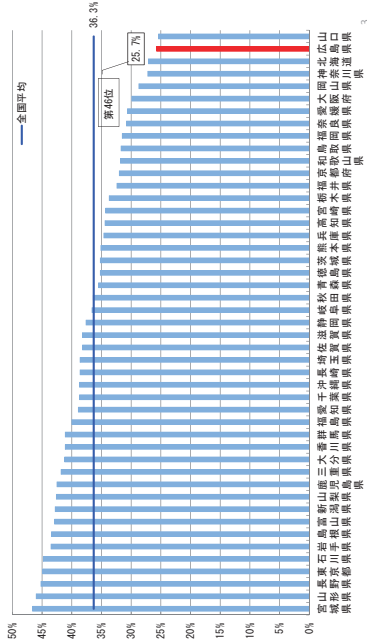
市町名	取組内容
広島市	検査項目の追加:尿糖の追加、医師の判断で実施していた顕血検査を対象者全員に実施 →重層のがん検診との同時実施回数の拡充 ・健診対象初年度となる40歳に受診案内、医療機関リストを送付
呉市	・過去の受診状況により個別の勧奨通知を送付
竹原市	・治療中の追加:尿糖の追加、医師の判断で実施していた顕血検査を対象者全員に実施 ・重層のがん検診との同時実施回数の拡充 ・健診対象初年度となる40歳に受診案内、医療機関リストを送付 ・過去の受診状況により個別の勧奨通知を送付 ・保険者へ働きかけにより協力依頼する。
三原市	・追加健診項目の実施(平成28年度～) (血清クレアチニン・eGFR・推定食量摂取量・尿中ナトリウム・尿中クレアチニン)
尾道市	・年齢を若年層と高齢層2つに分けて受診券送付時ペンフレットを送付する予定
福山市	・治療中の方の情報提供を実施(平成28年度～) ・特定健診委託医療機関に当該事業の周知・啓発を依頼
府中市	・啓発するチラシや広報誌などの見た目や内容を改善する。
三次市	・過去の特定健診受診履歴及び質問票の回答内容等を分析し、不定期受診者への受診勧奨を行う(業務委託)。
庄原市	・人間ドックの定員増、医療機関追加
大竹市	・再勧奨の充実を検討中 ・今年度未受診者の中から前年度受診者の取りこぼしの防止
東広島市	・電話勧奨時に未受診勧奨対象者を、地域や受診状況などで選定を工夫し効果的な勧奨を実施する。 ・医療機関とさらなる連携を図る。
廿日市市	・未受診者への受診勧奨へ気を、より効果的な時期に送付する。 ・前年度受診している未受診者の人に受診勧奨の電話をしているが、その際に未受診理由の聞き取りを行う。 ・若年層へのアプローチとして、スマートフォンを活用した簡易血液検査による健診の勧奨付け
安芸高田市	・9月受診勧奨後、再受診勧奨を行う。 ・事業主に対しての受診勧奨。
江田島市	・受診履歴を分析し、対象に応じた受診勧奨通知をする。
府中町	・未受診者への受診勧奨の通知内容を、受診履歴や健康意識から、対象者の属性に着目した内容を吟味し送付する。
海田町	・治療中の方の特定健診情報提供事業(平成28年度～) ・重症化予防を目的とした検査項目のさらなる充実 ・情報提供者にQLOカード配布
熊野町	・個別健診:案内に、対象者に合わせたコメントを挿入(受診履歴によって内容を変更) ・集団健診:40歳になる方へ、乳がん・大腸がん・骨密度検査の無料クーポン券を送付
坂町	・治療中の方の特定健診検査の情報提供を年度当初から実施する。 ・商工会等の団体と連携した受診勧奨を行う。
安芸太田町	・特になし
北広島町	・特定健診の自己負担金の無料化(平成28年度～)
大崎上島町	・信頼性を高めるため、封筒(独自)を作成(受診券を送付時使用) ・骨粗鬆症、B・C型肝炎、同日実施することにより、来場者数の増加を見込み、同時に該当者への受診勧奨を送付する。
世羅町	・人間ドック受診人数増(医療機関による。)
神石高原町	・特になし

## 平成27年度広島県市町村国保別 特定健康診査等実施状況

1

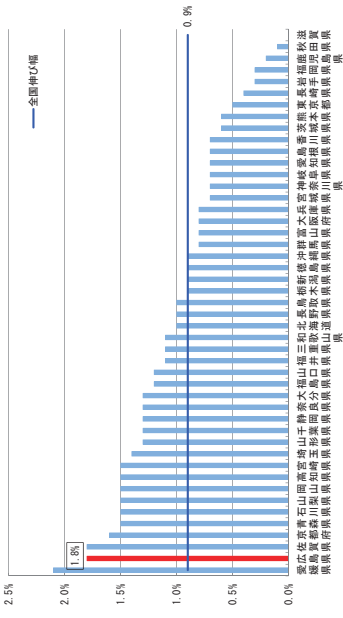
### 平成27年度都道府県別市町村国保特定健康診査受診率

平成27年度都道府県別市町村国保特定健康診査受診率の状況は、全国平均が36.3%、広島県は25.7%と平均を下回り、全国第46位となっている。



### 都道府県別市町村国保特定健康診査受診率伸び幅 (H26-27年度)

平成26年度から平成27年度の受診率の伸び幅をみると、最も伸び幅が大きいの  
は愛媛県の2.1%で、次いで広島県及び佐賀県の1.8%となっている。



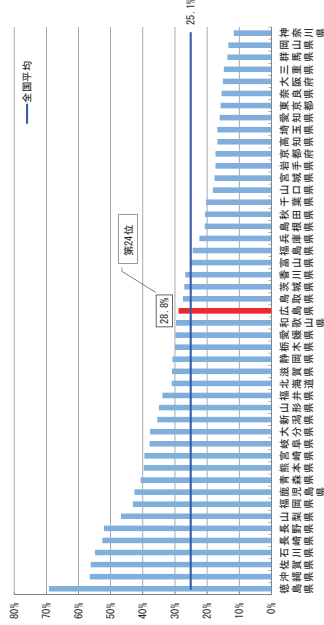
## H27年度法定報告より(H28.10)

全国値については、平成26年度までは厚生労働省決定値、平成27年度は国民健康保険中央会速報値

2

平成27年度都道府県別市町村国保特定保健指導実施率

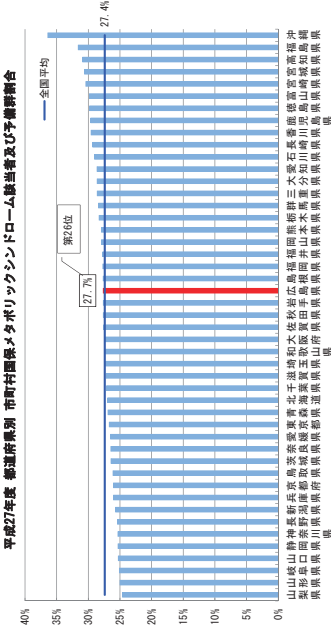
平成27年度都道府県別市町村国保特定保健指導実施率の状況は、全国平均が25.1%、広島県は28.8%と平均を上回り、全国第24位となっている。



5

平成27年度都道府県別市町村国保メタポリックシンドローム該当者割合等

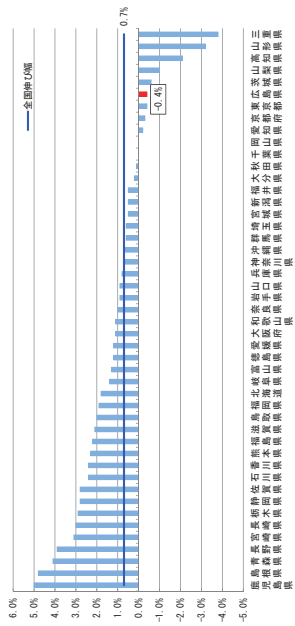
平成27年度都道府県別市町村国保メタポリックシンドローム該当者割合等の状況は、全国平均が27.4%、広島県は平均を上回る27.7%、全国第26位となっている。



7

都道府県別市町村国保特定保健指導実施率伸び幅

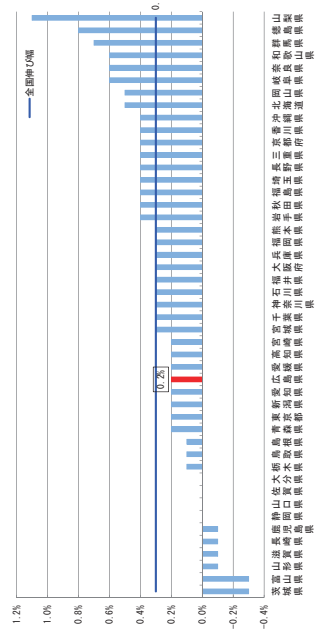
平成26年度から平成27年度の実施率の伸び幅をみると、最も伸び幅が大きいのは鹿児島県の5.0%で、次いで鳥根県の4.9%、広島県は0.4%減となっている。



6

都道府県別市町村国保メタポリックシンドローム該当者等減少幅

平成26年度から平成27年度の該当者等割合の減少幅をみると、最も減少しているのが茨城県及び富山県の-0.3%で、広島県は0.2%増となっている。

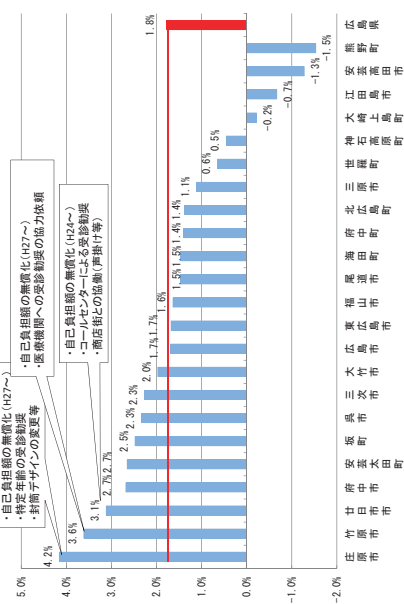


8





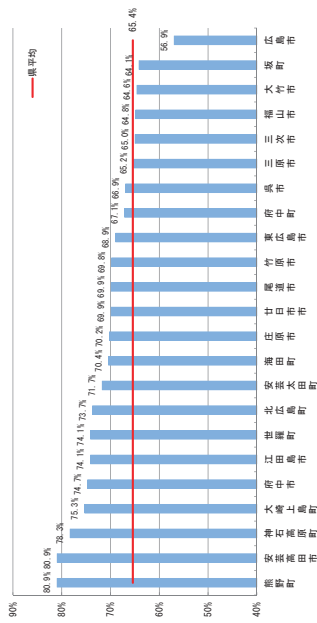
市町国保別 特定健康診査受診率 H26⇒H27比較



13

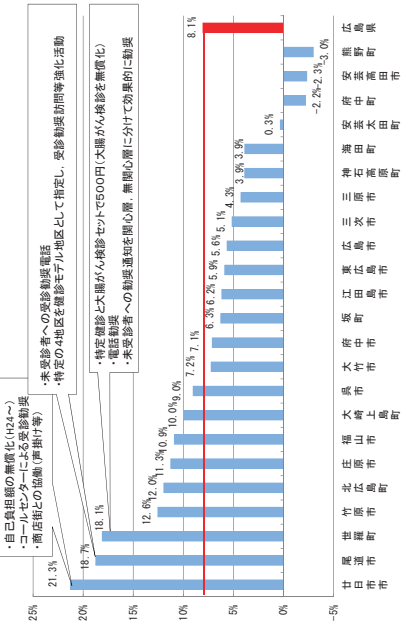
平成27年度 特定健康診査受診率とリポート率の相関

平成27年度の特定健康診査受診率と平成26年度の特定健康診査受診率で平成27年度  
の特定健康診査受診者（健診をリポートした者）の割合との相関を見ると、リポート  
率の高い市町のほうが特定健康診査の受診率が高い傾向にある。



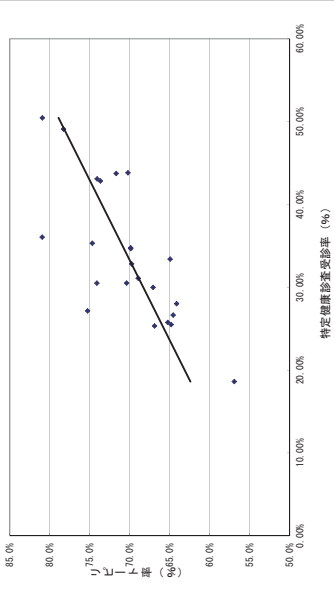
15

市町国保別 特定健康診査受診率 H20⇒H27比較



14

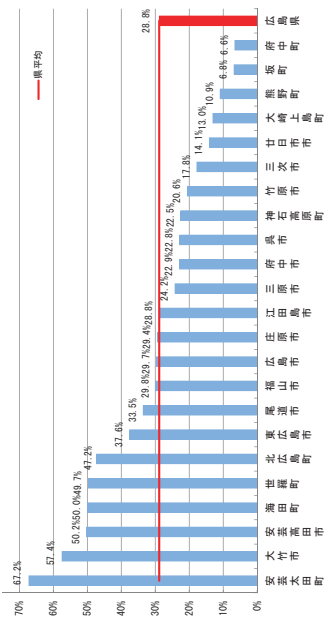
平成27年度 市町国保 特定健康診査受診率とリポート率の相関



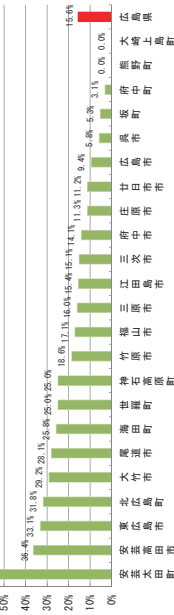
16

### 平成27年度 市町国保別 特定保健指導実施率

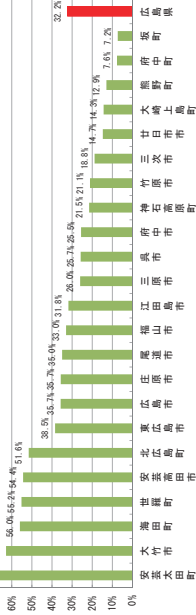
広島県の平成27年度特定保健指導実施率は、28.8%で、最も高いのは安芸太田町67.2%、次いで大竹市57.4%、安芸高田市50.2%となっている。最も低いのは府中町6.6%、次いで坂町6.8%、熊野町10.9%と全て安芸郡となっている。



### 平成27年度 市町国保別 特定保健指導（積極的支援）実施率



### 平成27年度 市町国保別 特定保健指導（動機付け支援）実施率

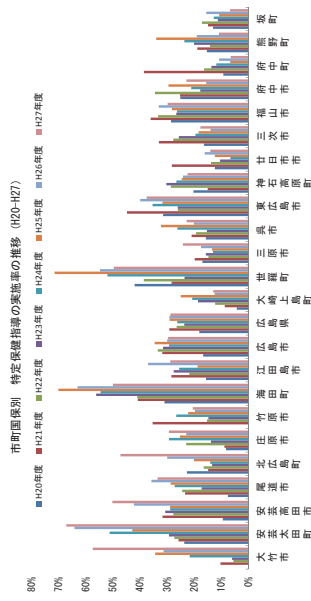


市町名	特定保健指導対象者数	積極的支援対象者数	動機付け支援対象者数	積極的支援実施終了者数	動機付け支援実施終了者数	特定保健指導実施率 (%)
広島市	32,793	4,000	921	173	3,079	29.7%
坂町	9,729	1,180	173	100	1,080	29.7%
竹原市	1,769	269	43	166	269	22.8%
三原市	4,359	583	106	477	124	24.2%
熊野町	9,119	1,021	221	861	301	33.5%
福山市	18,695	2,554	509	2,045	675	29.8%
府中市	2,473	310	71	239	10	22.9%
三次市	2,869	304	88	216	41	17.8%
庄原市	2,829	310	88	220	9	29.4%
大竹市	1,454	148	24	124	7	37.4%
東広島市	7,843	940	163	777	54	35.3%
廿日市市	6,801	703	125	578	14	14.1%
安芸高田市	2,596	237	55	182	20	50.2%
江田高市	1,665	215	39	176	6	28.8%
府中町	2,279	274	64	210	2	6.8%
瀬田町	1,315	156	31	125	0	50.0%
熊野町	1,700	257	40	217	0	10.9%
坂町	621	88	19	69	1	6.8%
安芸太田町	570	64	9	55	6	67.2%
北広島町	1,431	199	44	155	14	47.2%
大崎上島町	461	46	4	42	0	13.0%
世羅町	1,312	153	28	125	7	49.7%
神石高松町	888	129	36	93	20	22.5%
広島県	115,668	14,141	2,891	11,250	451	32.2%

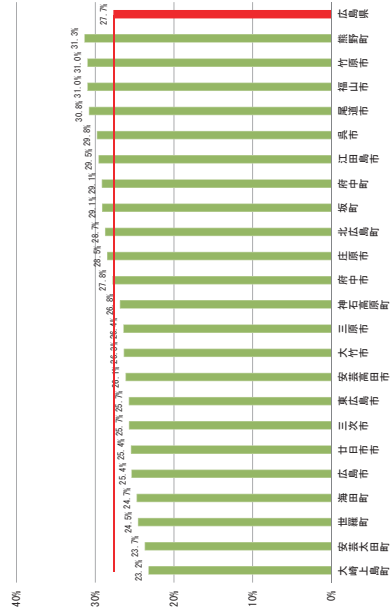
市町名	積極的支援対象者数	積極的支援実施終了者数	実施率 (%)	動機付け支援対象者数	動機付け支援実施終了者数	実施率 (%)
広島市	921	173	18.8%	3,079	1,009	32.8%
坂町	173	100	57.8%	1,080	259	23.9%
竹原市	43	8	18.6%	166	35	21.1%
三原市	106	17	16.0%	477	124	26.0%
熊野町	221	62	28.0%	861	301	35.0%
福山市	509	67	13.1%	2,045	675	33.0%
府中市	71	10	14.1%	239	10	4.2%
三次市	88	13	14.8%	216	41	18.8%
庄原市	88	9	10.1%	220	82	37.3%
大竹市	24	7	29.2%	124	7	5.6%
東広島市	163	54	33.1%	777	269	34.6%
廿日市市	125	14	11.2%	578	85	14.7%
安芸高田市	55	20	36.4%	182	99	54.4%
江田高市	39	6	15.4%	176	56	31.8%
府中町	64	2	3.1%	210	16	7.6%
瀬田町	31	8	25.8%	125	70	56.0%
熊野町	40	0	0.0%	217	28	12.9%
坂町	19	1	5.3%	69	5	7.2%
安芸太田町	9	6	66.7%	55	37	67.3%
北広島町	44	14	31.8%	155	80	51.6%
大崎上島町	4	0	0.0%	42	6	14.3%
世羅町	28	7	25.0%	125	69	55.2%
神石高松町	36	9	25.0%	93	20	21.5%
広島県	2,891	451	15.6%	11,250	3,625	32.2%

市町国保別 特定保健指導実施率 年次推移

広島県の受診率は、平成20年度18.9%、平成21年度19.2%、平成22年度20.2%、平成23年度21.2%、平成24年度21.9%、平成25年度23.1%、平成26年度23.9%、平成27年度23.8%と、平成21年度以降増減を繰り返しつつ、20%台にとどまっています。  
平成20年度から平成27年度の受診率の伸びを見ると、大竹市が87.4ポイントと一番伸びている。



平成27年度市町国保別  
メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者

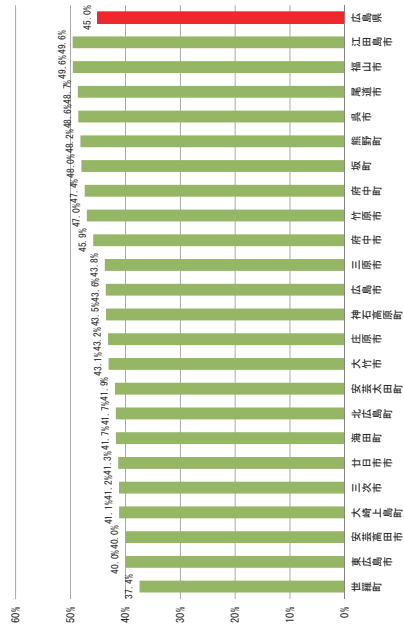


市町国保別 特定保健指導の実施率の推移 (H20~H27)

市町名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H20-27 単年度
広島市	16.7%	31.8%	33.5%	31.5%	29.3%	34.6%	30.0%	29.7%	12.9%
呉市	15.7%	21.0%	19.4%	15.4%	26.2%	26.2%	20.2%	22.8%	7.1%
竹原市	0.0%	35.4%	15.3%	14.8%	26.7%	22.3%	19.8%	20.6%	20.6%
三原市	17.0%	19.8%	14.8%	15.7%	13.1%	13.5%	17.5%	24.2%	7.2%
福山市	7.6%	23.4%	24.5%	17.3%	27.2%	28.7%	35.8%	33.5%	25.9%
福山市	28.6%	36.1%	33.4%	26.6%	26.4%	28.3%	33.1%	29.8%	1.2%
福山市	25.1%	25.3%	34.5%	17.8%	21.1%	29.5%	15.6%	22.9%	-2.2%
三次市	16.4%	33.0%	27.8%	25.7%	19.6%	18.4%	14.1%	17.8%	1.3%
庄原市	8.3%	8.9%	23.0%	13.9%	29.4%	25.3%	23.0%	29.4%	21.0%
大竹市	0.0%	10.3%	5.6%	6.1%	21.7%	34.4%	31.3%	57.4%	57.4%
東広島市	31.5%	44.8%	26.1%	28.1%	35.4%	31.8%	40.0%	37.6%	6.1%
廿日市市	12.4%	28.3%	13.8%	10.5%	6.7%	12.4%	16.2%	14.1%	1.7%
安芸高田市	9.5%	31.7%	27.7%	30.7%	28.9%	28.9%	42.3%	50.2%	40.7%
江田町	15.7%	28.5%	21.8%	27.6%	25.6%	18.8%	37.0%	28.8%	13.2%
瀬田町	9.3%	38.6%	16.4%	13.7%	11.9%	6.8%	10.9%	6.6%	-2.7%
瀬田町	15.4%	40.8%	41.0%	56.2%	54.6%	70.1%	63.1%	50.0%	19.0%
瀬田町	31.0%	18.9%	14.2%	20.1%	23.7%	34.1%	19.1%	10.9%	-4.5%
瀬田町	13.1%	14.9%	17.2%	11.3%	12.8%	10.8%	15.6%	6.8%	-6.3%
安芸太田町	23.7%	25.8%	27.4%	29.3%	51.2%	42.9%	64.2%	67.2%	43.5%
北広島町	22.7%	14.9%	16.5%	13.4%	14.2%	20.1%	30.0%	47.2%	24.5%
大崎上郷町	4.3%	8.8%	12.3%	18.6%	20.8%	25.0%	12.5%	13.0%	8.7%
世羅町	42.0%	28.4%	38.6%	23.6%	52.0%	71.5%	54.8%	49.7%	7.7%
神石高原町	20.3%	15.1%	28.7%	30.3%	26.6%	24.6%	24.2%	22.5%	2.1%
広島県	18.2%	29.2%	26.5%	23.7%	26.3%	29.1%	29.2%	28.8%	10.7%
全国	14.1%	19.5%	19.3%	19.4%	19.9%	22.5%	23.0%	25.1%	11.0%

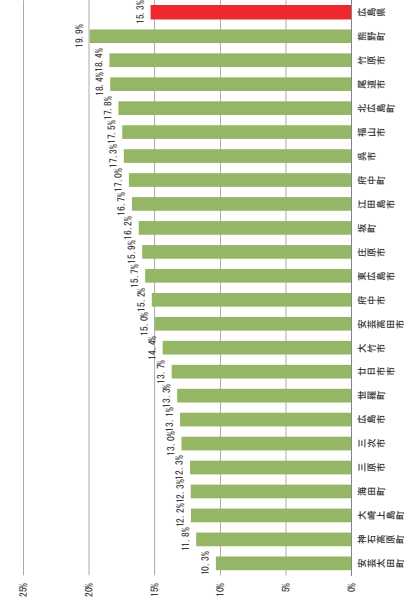
保健者名	対象対象者数	内臓脂肪厚 新規当番数	内臓脂肪厚 併発当番数	メタボリックシンドローム 該当者数	メタボリックシンドローム 予備群数	血圧異常者 数	コレステロール 異常者数	インスリン 異常者数
広島市	32,783	5,321	2,998	8,319	25.4%	9,150	7,236	2,025
呉市	9,725	1,676	327	2,203	22.8%	3,271	2,683	705
竹原市	1,766	327	121	438	24.8%	572	501	149
三原市	4,359	715	438	1,151	26.4%	1,330	946	304
福山市	9,119	1,773	1,033	2,806	30.8%	3,148	2,508	707
福山市	18,695	3,576	2,214	5,790	31.0%	6,232	4,366	1,470
福山市	2,473	437	255	687	27.8%	791	584	244
三次市	2,869	478	259	737	25.7%	1,070	790	274
庄原市	2,832	533	273	806	28.5%	1,089	749	279
東広島市	14,544	2,244	1,494	3,853	26.5%	4,461	3,883	833
廿日市市	7,843	1,138	692	1,730	22.2%	2,247	1,688	510
安芸高田市	6,803	1,038	692	1,730	25.4%	2,154	1,788	416
江田町	2,894	419	259	718	24.8%	947	730	272
瀬田町	2,363	428	247	652	27.6%	913	653	223
瀬田町	1,115	202	120	293	26.3%	366	204	82
瀬田町	1,168	327	234	561	31.3%	569	508	138
安芸太田町	622	107	74	181	29.1%	192	144	47
北広島町	570	81	54	135	23.7%	172	126	44
大崎上郷町	461	57	50	107	23.2%	132	159	41
世羅町	1312	204	118	322	24.5%	363	240	131
神石高原町	898	149	92	241	26.8%	257	173	63
広島県	115,668	19,730	12,253	31,983	27.7%	36,281	28,004	8,403

H127年度メタポリックシンドローム該当者及び予備該当者の状況（男性）



関係者名	内臓脂肪厚 計測者数	内臓脂肪厚 計測割合	メタポリック 該当者数	メタポリック 予備該当者数	メタポリック 予備割合	血圧超過 者数	コレステロール 超過者数	インスリン 超過者数
広島市	13,223	3,718	2,044	5,762	43.6%	4,450	2,279	1,211
呉市	3,863	1,100	777	1,877	48.6%	1,486	878	401
竹原市	714	223	141	364	47.0%	284	173	95
三原市	1,664	545	310	855	43.8%	714	371	195
尾道市	3,729	1,173	642	1,815	48.7%	1,488	865	395
福山市	7,659	2,433	1,464	3,897	49.6%	3,090	1,504	892
府中市	1,014	304	161	465	46.9%	371	202	134
三次市	1,295	339	194	533	41.2%	526	285	150
三原市	1,325	370	192	562	43.2%	543	257	166
大竹市	606	160	101	261	43.1%	213	119	52
東広島市	3,226	733	557	1,290	40.0%	1,093	549	300
廿日市市	2,800	700	494	1,194	41.3%	1,090	621	245
安芸高田市	1,154	290	172	462	40.0%	463	260	160
江田高市	649	191	131	322	49.6%	268	123	59
府中市	911	262	170	432	47.4%	322	222	92
三原市	569	148	84	232	41.7%	177	94	54
熊野町	722	202	146	348	48.2%	245	154	67
坂町	370	70	51	121	46.0%	85	44	22
安芸太田町	241	63	38	101	41.9%	93	44	20
北広島市	654	154	119	273	41.7%	222	93	47
大府市	173	37	15	72	41.6%	33	17	9
庄原市	610	131	79	226	37.1%	144	91	43
庄原市	425	118	61	156	43.5%	114	71	43
広島県	48,680	13,463	8,164	21,625	45.0%	17,591	9,359	4,662

H127年度メタポリックシンドローム該当者及び予備該当者の状況（女性）



関係者名	内臓脂肪厚 計測者数	内臓脂肪厚 計測割合	メタポリック 該当者数	メタポリック 予備該当者数	メタポリック 予備割合	血圧超過 者数	コレステロール 超過者数	インスリン 超過者数
広島市	19,570	1,603	954	2,557	13.1%	4,700	4,957	814
呉市	5,862	576	441	1,017	17.3%	1,785	1,505	304
竹原市	992	104	79	183	18.4%	288	328	54
三原市	2,405	170	126	296	12.3%	616	569	109
尾道市	5,390	600	391	991	18.4%	1,680	1,643	312
福山市	10,836	1,143	750	1,893	17.5%	3,172	2,682	578
府中市	1,459	128	94	222	15.2%	420	382	110
三次市	1,574	139	65	204	13.0%	494	505	124
三原市	1,530	165	81	244	15.9%	546	492	113
大竹市	848	74	48	122	14.4%	248	244	31
東広島市	4,617	403	323	726	15.7%	1,154	1,137	210
廿日市市	3,911	338	195	556	13.7%	1,064	1,165	171
安芸高田市	1,442	129	87	216	15.0%	484	470	113
江田高市	1,016	91	73	170	16.7%	345	310	66
府中市	1,388	155	77	232	17.0%	437	455	57
三原市	759	54	38	93	12.3%	189	200	28
熊野町	1,068	123	88	213	19.9%	324	352	71
坂町	370	37	23	60	16.2%	107	100	18
安芸太田町	241	63	37	79	32.8%	134	124	24
北広島市	654	154	119	252	38.6%	224	199	47
大府市	173	37	15	38	21.9%	62	57	9
庄原市	610	131	79	183	30.0%	128	114	24
庄原市	425	118	61	143	33.6%	116	103	20
広島県	67,582	6,246	4,085	10,331	15.3%	18,700	18,645	3,441

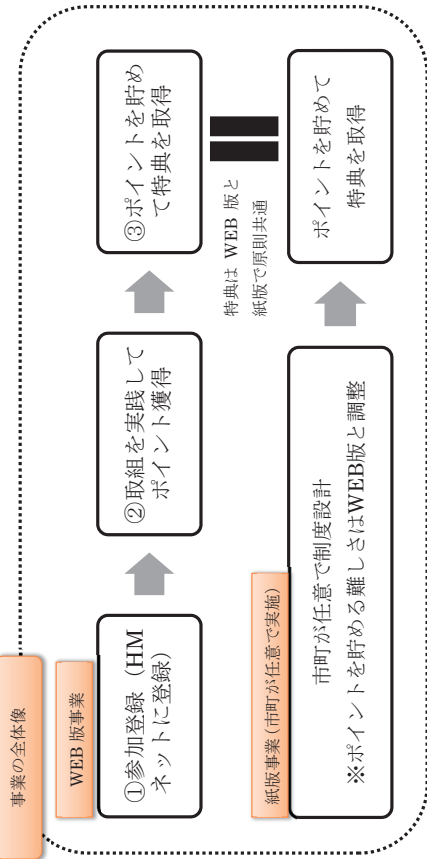
市 町 名	平成 29 年度の対応(案)
広島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己負担金(500円)の無料化の拡大(70歳以上⇒60歳以上)</li> <li>治療中の方の情報提供事業の実施</li> <li>60・65歳に対する分かりやすい受診勧奨</li> </ul>
呉市	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の自己負担を無料化し、受診率の向上を図る。</li> </ul>
竹原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>減少している原因を分析し、対策を立てて受診率の向上を図る。</li> </ul>
三原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度においても平成 28 年度と同様の事業の実施を予定</li> </ul>
尾道市	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>タイムリーな受診勧奨の実施(集団健診実施場所等に応じた勧奨)</li> <li>リピート健診を促す受診勧奨</li> <li>勧奨未介入地区への電話勧奨の実施</li> <li>11月に実施する未受診者勧奨事業(圧着はがき)の様式を見やすく変更</li> </ul> </li> </ul>
福山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年受診者に対する受診動向分析による個別勧奨を検討している。</li> </ul>
府中市	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業に業務委託し、マーケティングの手法を用いた受診勧奨(特定健診の間診表から対象者を分類し、それぞれに合わせた内容での受診勧奨・再勧奨)を実施する予定</li> </ul>
三次市	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨時期の見直し</li> <li>集団健診の検査項目ごとの定員管理</li> </ul>
庄原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取り組みを継続実施するとともに、事業評価及び内容の見直しを行う。</li> </ul>
大竹市	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の無料化により集団健診での受診者増を目指す。</li> <li>受診勧奨時期の見直し、効果的な勧奨</li> </ul>
東広島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者への電話勧奨は、電話勧奨促進事業者の確保が十分でない事などにより未受診者全員に勧奨が出来ていないため、2年連続で未勧奨地域を作らない等の工夫をして、効果的な勧奨を実施する。</li> <li>治療中の方の情報提供事業の申込み者数や他の健診実施者の結果提供件数が増えていないため、医療機関とさらなる連携を図るなど普及啓発に取り組んでいく。</li> </ul>
廿日市市	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診PRRの場所(商業施設)などを増やす。</li> <li>レディースデーの実施</li> <li>託児実施日を増やす。</li> <li>みなし健診のPR強化(個別健診受託医系機関へ各種健診や保健事業のチラシなどをフアイーリング、職場等で受けた健康診断結果持参者へ粗品進呈)</li> </ul>

市 町 名	平成 29 年度の対応(案)
安芸高田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>治療中の情報提供事業による受診者への受診勧奨に力を入れていく。特に医師会からの受診勧奨の協力依頼を行う。</li> <li>事業主健診の情報提供事業の推進として、商工会から対象者へ事業の周知を依頼する。</li> </ul>
江島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>40～50歳代の受診者数が低いため、40代に焦点を絞って受診勧奨通知をする。</li> <li>申込方法や広報の工夫(広報の時期や、ネット申込み受付を検討中)</li> </ul>
府中町	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の受診勧奨では集団健診に焦点を当てたので、集団健診の申込みや問い合わせが一時期に増加集中し他業務への支障が出たので、個別健診にも申込みが移行できるように通知内容を考える。</li> <li>女性が安心して健診を受診できるように、託児所や女性だけの受診日等の試行を検討している。</li> <li>府中町つばき祭りアンケートでは特定健診については50%の人が、特定保健指導については75%の人が、知らないということがわかったので、まず関心をもってもらえるように、そしてわかりやすい内容に改める。</li> </ul>
海田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供事業を普及させるため、受診券送付時に情報提供事業についてのお知らせ及び情報提供票を同封する。</li> <li>集団健診の日程を例年通りに戻し、健診の受診月を決めている方が、その月に受診できるようにする。</li> </ul>
熊野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規の国保加入者へ健診の案内を行い、新規受診者を増やすことを目標とする。</li> </ul>
坂町	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度と同様に、情報提供事業を年度当初から実施。5月に特定健診受診券を送付する際に当該事業について詳しく記載しPRを行う。</li> </ul>
安芸太田町	—
北広島町	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の新規受診者の分析(新規国保加入者かどうか)</li> <li>地域内の受診率を分析し、受診率の低い地域に重点的に受診勧奨を行う</li> </ul>
大崎上島町	—
世羅町	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去受診者の分析業務を専門業者に委託し、未受診者の性格に応じた効果的な受診勧奨(コール・リコール)を実施する。併せて、町内のかかりつけ医からの情報提供につなげる。</li> </ul>
神石高原町	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度より個別がん検診を実施する。がん検診と併せて特定健診を受けける方の増加を図る。</li> </ul>



## ひろしまヘルスケアポイントの概要

- 広島県の健康寿命は、全国的に低く（全国順位：男性 33 位，女性 46 位），医療費も年々増加しています。
- 県では，幅広い年齢の県民の方に健康づくりに取り組み意欲を高めていただくために「ひろしまヘルスケアポイント」事業を実施します（平成 29 年 3 月開始予定）。



### ②ポイントを獲得できる取組

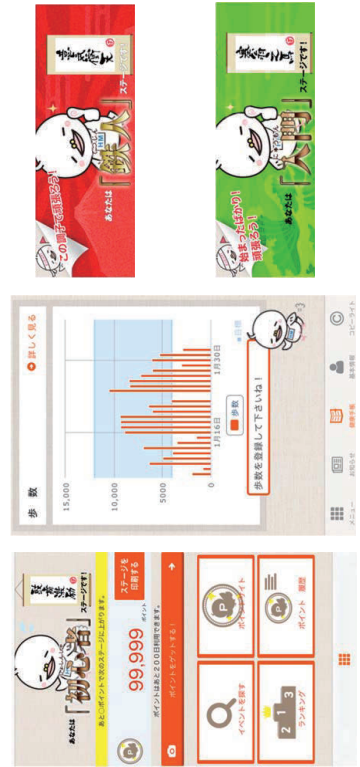
取組	獲得ポイント	確認方法
特定健診等の受診	500 p (年 1 回)	①健診会場の二次元コードの読み取り ②健診結果のアップロード
がん検診の受診	500 p (年 1 回)	
歯科健診 (実施市町に限る) の受診	500 p (年 1 回)	
健康イベントへの参加	30 p / 回	会場・施設での二次元コードの読み取り
健康づくり施設の利用	5 p / 日	
歩数の記録	8,000 歩以上 5,000~7,999 歩 3,000~4,999 歩	①対応機器からの自動データ連携 ②Web サイトで入力
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事	3 p / 日	
体重の記録	5 p / 日	体重の記録データから自動算出
適正体重 (BMI) の維持	10 p / 日	
適正体重 (BMI) への変化		

### ③ポイントを貯めて獲得できる特典

NO	ステージ名	必要なポイント数	特典の内容		
			①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	③景品の抽選
I	入門ステージ	1,000 p 類 (毎日取り組んで約 1 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	※ウェブ上の画面イメージ (紙入ステージの場合)
		2,000 p (毎日取り組んで約 2 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	③景品の抽選 1 (企業等提供)
II	達人ステージ	3,000 p (毎日取り組んで約 3 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	④景品の抽選 2 (企業等提供)
		5,000 p (毎日取り組んで約 5 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	⑤景品の抽選 3 (プロ団体等提供)
III	名人ステージ	8,000 p (毎日取り組んで約 8 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	④景品の抽選 2 (企業等提供)
		10,000 p (毎日取り組んで約 10 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	⑤景品の抽選 3 (プロ団体等提供)
IV	鉄人ステージ	15,000 p (毎日取り組んで約 15 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	④景品の抽選 2 (企業等提供)
		20,000 p (毎日取り組んで約 20 か月)	①協賛事業者のポイントを獲得	②協賛店での割引等	⑤景品の抽選 3 (プロ団体等提供)

※1：ポイント交換ではなく，必要な累積ポイントが貯まれば各ステージの特典を取得する。  
 ※2：協賛事業者が実施している店舗等でのポイントが付与される。  
 ※3：スマホの画面等を店舗等で提示することにより，割引等の特典サービスが受けられる。

### ①ポイントを貯める画面イメージ



連絡先：広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課  
 〒広島市中区基町 10-52 TEL：082-513-3214 Ema il：fukoureisshien@pref.hiroshima.lg.jp

広島県地域保健対策協議会 特定健診受診率向上専門委員会

委員長	木原 康樹	広島大学大学院医歯薬保健学研究院循環器内科学
委員	大本 崇	広島県医師会
	吉川 仁	佐伯地区医師会
	小島 敏嗣	福山市医師会
	佐川 広	大竹市医師会
	菅田 巖	安芸地区医師会
	田中 純子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学
	田辺 靖昌	福山市保健福祉局保健部成人健診課
	谷本 文代	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	地主 和人	安佐医師会
	中西 敏夫	広島県医師会
	野島 等	大竹市健康福祉部社会健康課
	平井東志雄	広島県国民健康保険団体連合会総務部保健事業課
	松村 誠	広島市医師会
	三浦 弘之	東広島地区医師会
	光野 雄三	呉市医師会
	宮崎 哲匡	廿日市市福祉保健部健康推進課
	渡辺 慎一	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課